

<2022年度事業報告>

<事業の結果>

(1)公益目的事業1「緑の安全管理士関係事業」

- ①管理士(ゴルフ場・緑地分野)の第44回資格認定研修会(12/7~9、エッサム神田ホール2号館/東京・千代田区内神田)を71名が受講(前年70名)し、68名が認定試験に合格(前年65名)。第1回認定審査会(12/16)にて植物防疫研修会修了者(農耕地分野)53名と合わせて121名を認定した。第2回認定審査会(3/10)を開催し農耕地分野37名を認定した(2022年度計158名)。
- ②更新研修会(1/5~2/28)は、新型コロナウイルス感染症対策及び効率化のため、HPの緑の安全管理士専用サイトの研修動画5件を視聴して視聴確認書等を提出する方式とした。更新対象の管理士725名のうち475名が受講し、受講率66%(前年63%)となった。研修動画は更新年次以外の管理士にも視聴を促し、専門知識のレベルアップをはかった。また、受講者には動画スライドの印刷物を提供した。なお、「緑の安全管理士の手引き」の改訂準備を進めた。

<研修テーマ>

- ✓ 農薬をめぐる最近の動向……農林水産省農薬対策室
 - ✓ 農薬の環境影響に係るリスクの評価と管理……環境省農薬環境管理室
 - ✓ 農薬の登録状況を巡る最近の話題(農薬の使用時安全性評価)……FAMIC 農薬検査部
 - ✓ 無人航空機の飛行の現状と農薬の適正使用・事故事例と再発防止……(一社)農林水産航空協会
 - ✓ 事務局報告(ドローン展示会報告、ゴルフ場排水管理注意喚起、SDGsを意識した農薬使用、ヒヤリハット・KY)……(公社)緑の安全推進協会
- ③「緑の安全管理士」への情報提供として、「みどりのたより」を3回(4/25、8/31、2/1)発行し、HPの管理士サイトにPDF版を掲載してNewsメールで周知するとともに、特に希望する管理士には冊子を郵送した。また、最新の登録情報等をメールマガジンで周知した(3/20現在45回、前年45回)。
 - ④緑の安全管理士数(3月末現在) 2,717名

(2)公益目的事業2「講師派遣事業」「電話相談事業」「リーフレット等配布事業」/(農薬工業会との協働事業)

- ①講師派遣は180件以上の目標に対し、新型コロナウイルス感染症の影響もあったが農業団体、生産組合、都道府県等が主催する研修会等で164件実施した(前年度131件)。また、講演会への参加者総数は、10,139名(前年度9,014名)であった。委嘱講師の研修会を

3 回実施(7/15、10/24,3/6)し、廃掃法対応等の教育と知識の向上をはかった。

- ②電話相談件数は 243 件(前年度 177 件)となった。相談者の内訳は、使用者 130(72)、一般市民等 79(75)、指導者 21(17)、販売者 13(13)の順で、使用者の相談が増加した。相談内容は、農薬使用法 154(107)、健康・安全性 87(67)、苦情 2(1)、要望提案 0(2)であった。農薬メーカーのお客様相談窓口担当者を対象とした研修会を 2 回(11/29, 2/28)実施し、相談対応スキルの向上をはかった。
- ③リーフレットの配布は 228 か所、121, 049 部(前年度末 254 か所、224,933 部)であった。また、「お米をまもるはなし」のリーフレットを増刷した。

(3)公益目的事業 3 「出版事業」、「出荷統計」

- ①グリーン農薬総覧 2023総合版を発行した。2021 総合版以降の農薬登録の追加・変更を網羅する内容。今回は、冊子を 2021 総合版と同じく 800 部印刷し、頒布を開始した(3/8)。別途 pdf 版も作成しており、冊子受領者のうち希望者への提供を開始した。本版では、RAC コードの掲載、及び二次元バーコードによる情報提供を開始した。
- ②2022 年度緑地・ゴルフ場分野の農薬出荷実績をとりまとめ公表した(2/1)。緑地・ゴルフ場分野の出荷実績を補正した結果、数量が7,926ton・kℓで対前年97.6%となった(194 ton・kℓ 減)。金額は 28,718 百万円で、対前年 99.1%であった(258 百万円減)。種別では、殺虫剤は減少(数量 4.5%減、金額 5.5%減)、殺菌剤は増加(数量 3.4%増、金額 3.6%増)、除草剤は減少(数量 3.6%減、金額 2.5%減)、植物成長調整剤は増加(数量 12.8%増、金額 8.1%増)した。

<事業の経過>

(4)会議等の開催

①第1回理事会(全農薬ビル9F 会議室・Web 参加)

2022年 5 月 25 日(水) 10 時 30 分～11 時3分

全農薬ビル9F 会議室

- ・2021年度事業報告及び収支決算承認の件、並びに2022年度収支予算一部修正承認の件
- ・第33 回通常総会の日時および場所並びに議事に付すべき事項、等の承認の件
- ・理事の辞任に伴い総会に推薦する補欠理事候補選任の件
- ・役員報酬の一部改定承認の件
- ・その他 会長、専務理事の職務執行状況報告

②第 33 回通常総会

2022年 6 月 21 日(水) 14 時 00 分～14 時 30 分

TKP 神田駅前ビジネスセンター5階C会議室

106 名出席(本人出席 12 名、委任状による出席 45 名、議決権行使書 49 名)

- ・2021年度事業報告及び収支決算承認の件

- ・理事の辞任に伴う補欠の理事選任の件
- ・その他 2022年度事業計画及び収支予算の報告
- ③電磁的記録(メール)による理事会承認(みなし決議)
 - 2022年6月2日(木)～6月20日(月)
 - ・委員会委員交代(1名)の件
- ④電磁的記録(メール)による理事会承認(みなし決議)
 - 2022年10月22日(土)～10月24日(月)
 - ・エンバイロサイエンスジャパン株式会社入会の件
- ⑤第2回理事会(全農薬ビル9F 会議室・Web 参加)
 - 2023年3月22日(水) 10時30分～
 - ・2022年度事業及び収支決算(案)報告の件
 - ・2023年度事業及び収支予算承認の件
 - ・2023年度借入金の借入最高限度額承認の件
 - ・2023年度役員報酬の上限承認の件
 - ・事務局規程類の一部改定・整備承認の件
 - ・その他報告事項(会員の入会及び退会、各委員会等の委員交代)
- ⑥監査
 - 2022年4月21日(月)に 2021年度事業報告、収支決算等に関し監事による監査が実施され、適正との「監査報告書」を受領。
- ⑦委員会、専門部会、等
 - 運営委員会(前年4回)
 - 第1回:5/11 (公社)緑の安全推進協会会議室及びWeb会議併設。
第33回通常総会の日時及び場所並びに議事に付すべき事項、理事の辞任に伴い総会に推薦する補欠理事候補推薦、等。
 - 第2回:7/6 全農薬ビル9F 会議室及びWeb会議併設。
公益目的事業1緑の安全管理士事業の活性化について、第一四半期の活動状況、等。
 - 第3回:11/30 全農薬ビル9F 会議室及びWeb会議併設。
運営委員会一部メンバー交代、上半期の活動状況と予算執行状況、緑の安全管理士更新手数料へのシニア額導入、規程類の一部改定、グリーン農薬総覧2023の編集方針、等。
 - 第4回:3/2 全農薬ビル9F 会議室
理事会付議事項協議;2022年度事業報告及び収支決算(見込)、2023年度事業計画・収支予算、2023年借入金限度額、役員報酬の上限、会員の入会及び退会、委員会等の委員交代、事務局規程類の一部改定・整備、等。
 - 技術研修委員会(7/11)
 - 2022年度の「緑の安全管理士」資格認定研修の実施方針(研修カリキュラムと講師の一部変更、研修テキスト、試験問題集の改訂、試験および試験問題等)、及び資格更新研修の実施方針(開催方法と講演テーマ等)、資格認定研修受講要件の見直し、等。
 - 環境安全対策委員会(8/1、12/28、3/2)
 - 委員長選任。2022年度活動計画。専門部会報告、課題の整理。一般家庭から出る

残農薬・空容器の問題につき情報共有。2022年度の専門部会活動報告。

環境安全対策委員会 ゴルフ場専門部会(5/25、12/20)

部会長選任。2022年度活動計画。ゴルフ場排水指針値超過事例(水産指針)、排水調査でのガイドライン逸脱事例(調整池で採水実施など)を確認し情報共有。2022年度緑の安全管理士更新研修動画で注意喚起。

芝向けのRACコード表と農薬の正しい使い方の啓発チラシを作成し、前年度に農薬使用計画を届け出たゴルフ場宛にDMを送付した(3/10)。

環境安全対策委員会 家庭園芸剤専門部会(5/31、12/23、3/1)

部会長選任。2022年度活動計画。(公社)家庭園芸普及協会との連携による広報活動として、一般家庭向け残農薬や空容器の処理のチラシを作成し、DM用に同協会に提供した(3/10)。空容器、残農薬の処分について、環境省との協議を開始した(12/23)。

農薬取締法改正に伴う対応として、作業者暴露評価における家庭園芸剤の取扱いにつき農薬対策室と情報交換を実施(2/17)。更に、除草剤(AL剤等)の使用実態に関連した更なる情報提供を行った(2/28)。

また、農薬工業会の農薬容器表示要領改訂チームに当専門部会よりメンバーを出し、家庭園芸用農薬容器表示要領の改訂に向けて準備中。農水省消費安全局長通知「農薬を販売する際の表示要領(4消安 6566号、令和5年3月1日付)」発出への対応を開始。

環境安全対策委員会 農耕地専門部会

部会長を選任。メンバーを見直し中。

「緑の安全管理士」認定審査会(12/17、3/10)

当会主催の認定研修会修了試験合格者及び(一社)日本植物防疫協会主催の植物防疫研修会修了者のうち認定を希望する方々から管理士都合158名を認定した。

緑の安全管理士会役員会(6/29、1/25~26)

緑の安全管理士の活動強化、支部運営状況や課題等を協議し、規約・ガイドライン・ガイダンス等の改定を承認した。

(5) その他

・会員通信の発行

会員通信を3回(4/18、7/29、12/15)発行し、Newsメールで配信し、必要に応じて郵送した。

・内閣府への2023年度事業計画・収支予算の届出(3/23)

<(公社)緑の安全推進協会会員の動向>

2023年3月末現在

	正会員	賛助会員	計
2021年度末(2022.3.31)	140	1	141
入会	1	0	1
退会	4	0	3
2022年度末(2023.3.31)	137	1	138

入会(承認日) エンバイロサイエンスジャパン株式会社(2022年10月24日)

退会(届出日) ちとせ緑地株式会社(2022年7月13日)

出光アグリ株式会社(2023年1月30日)

三和緑化株式会社(2023年2月3日)

MMAG株式会社(2023年3月30日)

社名変更 ダウ・アグロサイエンス日本株式会社 ⇒ コルテバ・ジャパン株式会社
(2022年11月1日付)

三井化学アグロ株式会社 ⇒ 三井化学クロップ&ライフソリューション株式会社
(2023年3月31日付)

<(公社)緑の安全推進協会役員>

2023年3月末現在

役職	氏名	所属会社・団体
会長	根岸 寛光	(公社)緑の安全推進協会
副会長	小林 由幸	(株)ロイヤルグリーンメンテナンス 代表取締役社長
//	本田 卓	農薬工業会会長(日産化学株) 取締役副社長)
専務理事	白岩 豊	(公社)緑の安全推進協会
理事	足立 純一	シンジェンタジャパン(株)執行役員プロフェッショナルソリューション事業本部長
//	梅田 公利	住友化学園芸(株) 代表取締役社長
//	大森 茂	全国農薬協同組合 理事長(山陽薬品(株)代表取締役会長)
//	小澤 敏	三井化学クロップ&ライフソリューション(株) 代表取締役社長執行役員
//	河西 康弘	住友化学(株) マーケティング部長
//	篠原 卓朗	(株)理研グリーン 代表取締役社長
//	住田 明子	全国農業協同組合連合会 耕種資材部次長
//	永井 統尋	(株)ニチノ一緑化 代表取締役社長
監事	鈴木 望文	小西安農業資材(株) 常務取締役営業本部長
//	松浦 克浩	農薬工業会 専務理事

以上